

アンチ・ドーピング 2015 年 1 月 1 日変更点

2015 年 1 月 1 日で変更になった点をお伝えします。

- ・排尿障害にて自己導尿を行っている選手へ検査時の手順変更があります。これまでは JADA が用意したカテーテルを検査で選択する事が出来ましたが、改定により、採尿に際して使用するカテーテルは、選手自らが準備し持ち込む必要がある。に変更になりました。

また、2010 年の変更で血漿増加物質としてのグリセロールの経口摂取や静脈注射の位置づけが明確とされ、例としての記載をされる様になりました。しかし、経口摂取や静脈注射以外の方法、カテーテルの保存液が検査中移行してしまいドーピング違反に問われそうになった事例が発生したそうです。したがって、例として次の保存用消毒液を使用している選手は注意です。「グリセリン BC 液」「ハイアミン・グリセリン液」「イソジン・グリセリン液」などは禁止物質のグリセロール＝グリセリンが検出されます。

- ・世界アンチ・ドーピング機構での未成年アスリートの定義が 18 歳未満へ。しかし日本の法律上、20 歳未満のアスリートについては同意書の提出。
同意書「JADA ホームページ」> トップ画面バナー「U20 未成年同意書」

- ・違反項目の追加

- × アンチ・ドーピング規則違反に関与していた人とスポーツの場で関係を持つこと
- × アンチ・ドーピング規則違反を手伝い促し共謀し関与すること

- ・複数回の違反や検体の保管が時効 10 年に。

- ・JADA が承認した TUE 申請が一定の条件を満たしていれば IF の TUE 委員会でも承認される相互承認が可能。

- ・制裁の厳格化に関する規則では、計画的な違反や違反の隠ぺいなど、意図的な行動や重大な落ち度が認められた場合はより厳しい制裁が下される。

- ・居場所情報提出が求められている選手に対してのフォローアップ期間が 18 カ月から 12 カ月と短くなった。居場所情報の 1 回目の義務違反から 12 カ月の中で違反累積が 3 回となるとドーピング防止規則違反となります。

以上が、変更点です。

自分の使用している薬を調べたい時

Global DRO : JADA のホームページに『Global DRO』というバナーがあるので選択してみてください。青字で Global DRO、赤でカプセル薬と薬ビンの絵が描かれています。そこに購入した国、競技など質問に答えて入力すると回答が得られます。検索結果は証明責任の為、メールで送れたり PDF として保管出来ます。

「JADA ホームページ」>トップページ バナー「Global DRO」

<http://www.globaldro.com/default-ja.aspx>

スポーツファーマシストに相談 : JADA のホームページに水色の人型が走っている『スポーツファーマシスト』のバナーがあるのでそれを選択。JADA のアンチドーピングの研修を受けた薬剤師さんが登録されています。メールや FAX で相談が出来ますので活用してみてください。

<http://www3.playtrucejapan.org/sports-pharmacist/search.php>

自己導尿を行っている選手におけるドーピング検査時の対応方法

日頃から禁止薬物のグリセリンを含む消毒液を使用している場合、大会当日になってグリセリンを含まないものに変更しても膀胱内あるいは尿道内にグリセリンが残留している場合がありますので、大会前からグリセリンを含まないものを用いるか単回使用型カテーテルで導尿を行っていく必要があります。

グリセリンを含まない消毒薬例

塩化ベンザルコニウム 【ザルコニン液 10%® (100・200 倍に希釈して使用)、オスバン消毒液 10%® (100・200 倍に希釈して使用)、0.025W/V%ジアミトロール水® (希釈不要)、プリビシー液 0.02%® (希釈不要) など】

塩化ベンゼドニウム 【エンゼトニン液 0.025%® (希釈不要)、ハイアミン液 10%® (100・200 倍に希釈して使用) など】

まず、通告されたら集尿バックを使用の選手であればバックの中の尿を捨てます。そして選手本人が持参した**未使用の使い捨てタイプの単回使用型カテーテル**または選手本人が持参した**再利用型カテーテル**のどちらを使うか選手が選択します。

単回使用型カテーテルを使用

以下の3つの方法があります。まず、検査員に未使用であることを確認してもらいます。

- ① 潤滑油なしのネラトンカテーテル：潤滑油を使用する場合はリドカインゼリー（キシロカインゼリー®）や滅菌オリーブ油を選手が用意し使用する。
- ② ポケットカテ®（テルモ（株））：包装の上から水パックを押しつぶし、包装を軽く振ってカテーテルを十分に浸した後に開封後潤滑油を使用せずに採尿が出来ます。
- ③ スピーディーカテ®（コロプラスト（株））：親水性のコーティングがされていますので開封後に採尿出来ます。

再利用型カテーテルを使用

なぜ再利用型カテーテルを使用するのか、検査員に理由を伝えなければなりません。そして、使用許可を得た上で採尿を行います。理由の例として『使い慣れないカテーテルでは尿道を傷付ける可能性がある為』など。

カテーテルの保管用消毒液は泌尿器科の担当医と相談し、グリセリンを含まないものに変更し、採尿（導尿）に潤滑油が必要な場合もグリセリンを含まないリドカインゼリー（キシロカインゼリー®）や滅菌オリーブ油を使用して下さい。

以上